



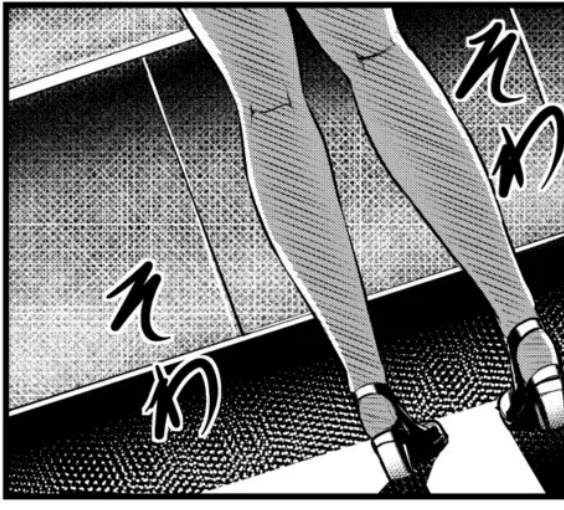
彼女の名前は春賀麗乃

彼女が今日映画館に来た理由は、
映画を見るためではない

映画館の暗闇を利用し、
露出プレイをすることが目的だった



ひよんなことから彼女は
露出プレイに嵌ってしまった



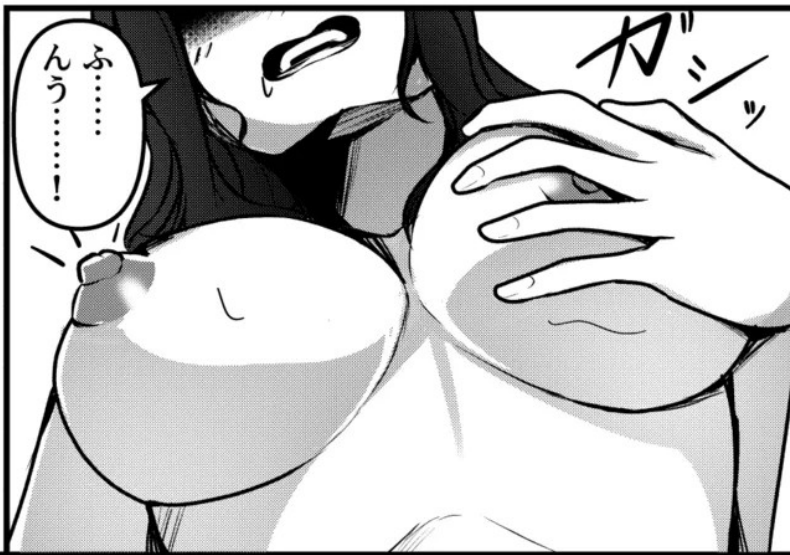




皆、まさか私が
裸になっているなんて
思ってもないのよね……

やっちゃった
やっちゃった……!!

やっちゃった!!

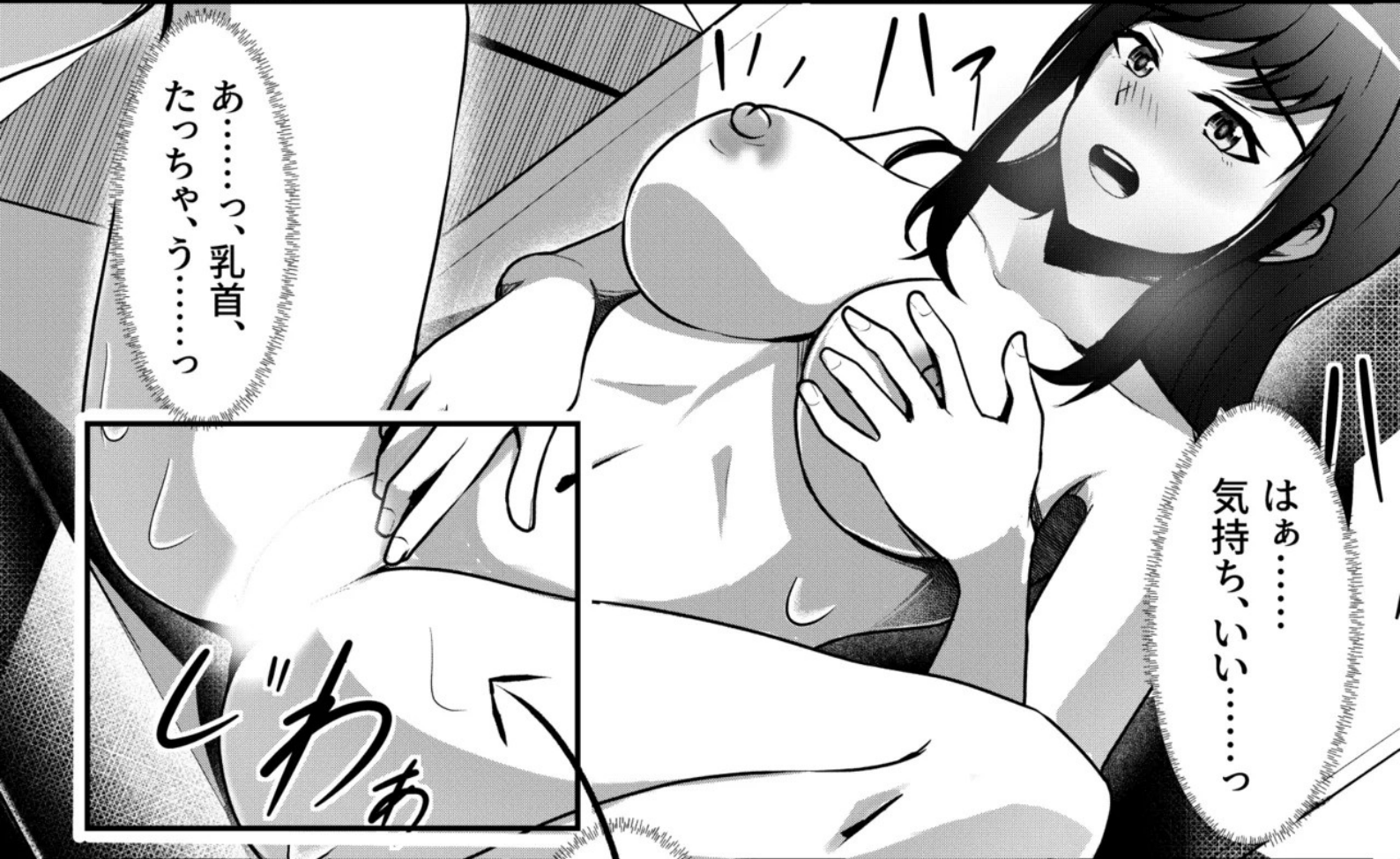


ふんう……
んう……!



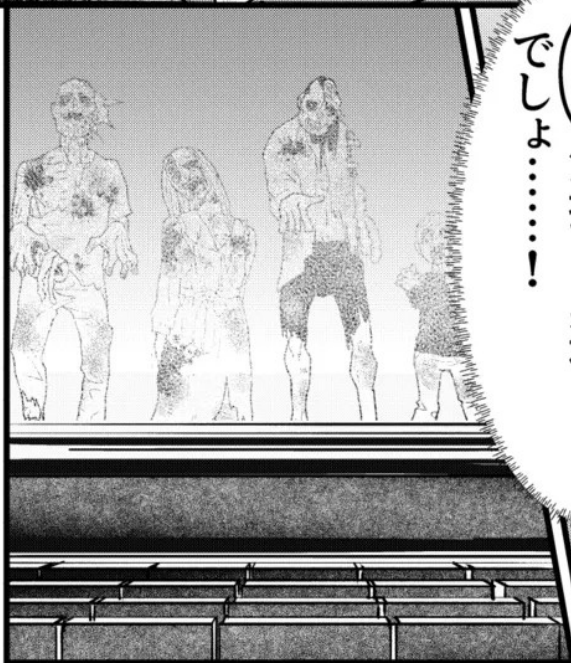
うう……!
すこし、だけ……!

ふーっ
はー……



あ……っ、乳首、
たっちや、う……っ

はあ……
気持ち、いい……っ



やっぱり、
ここの気持ち良過ぎる……
でしょ……!



くうう……!

このまま指で
弄ってたら、
音で
バレルかしら……？

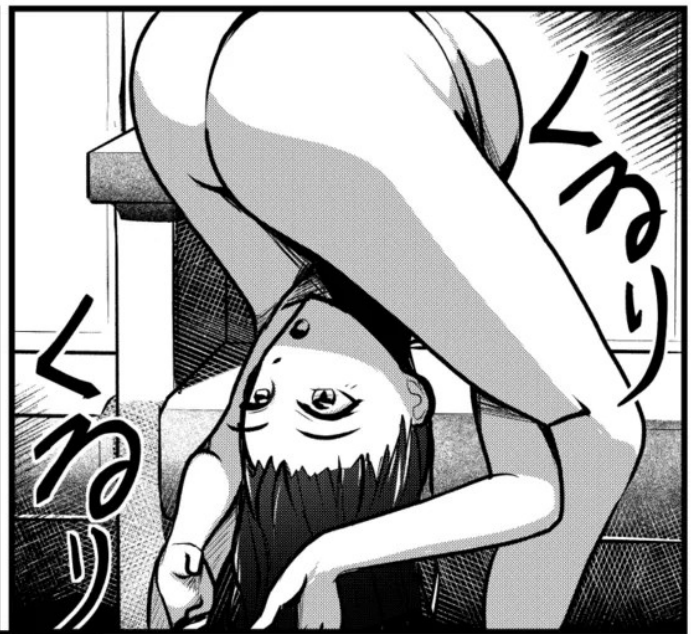
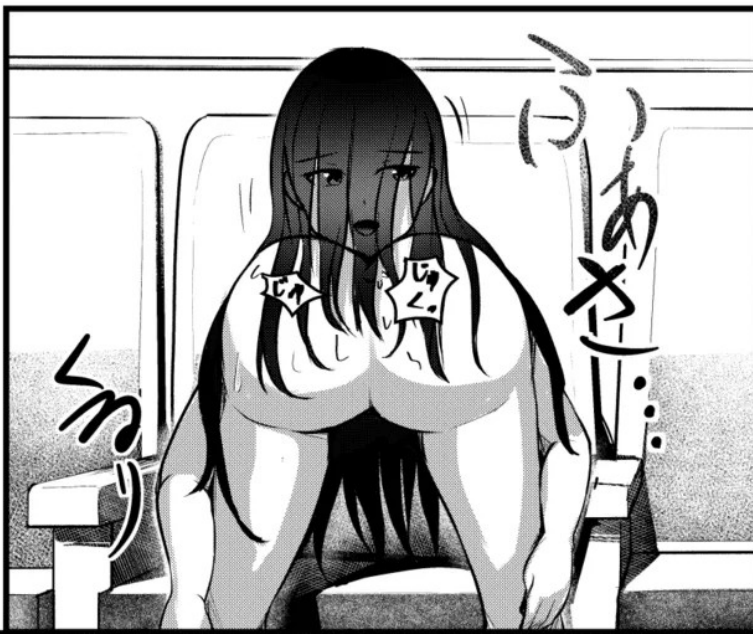
映画の本編が
始まって……
ビィヤ
ビィヤ

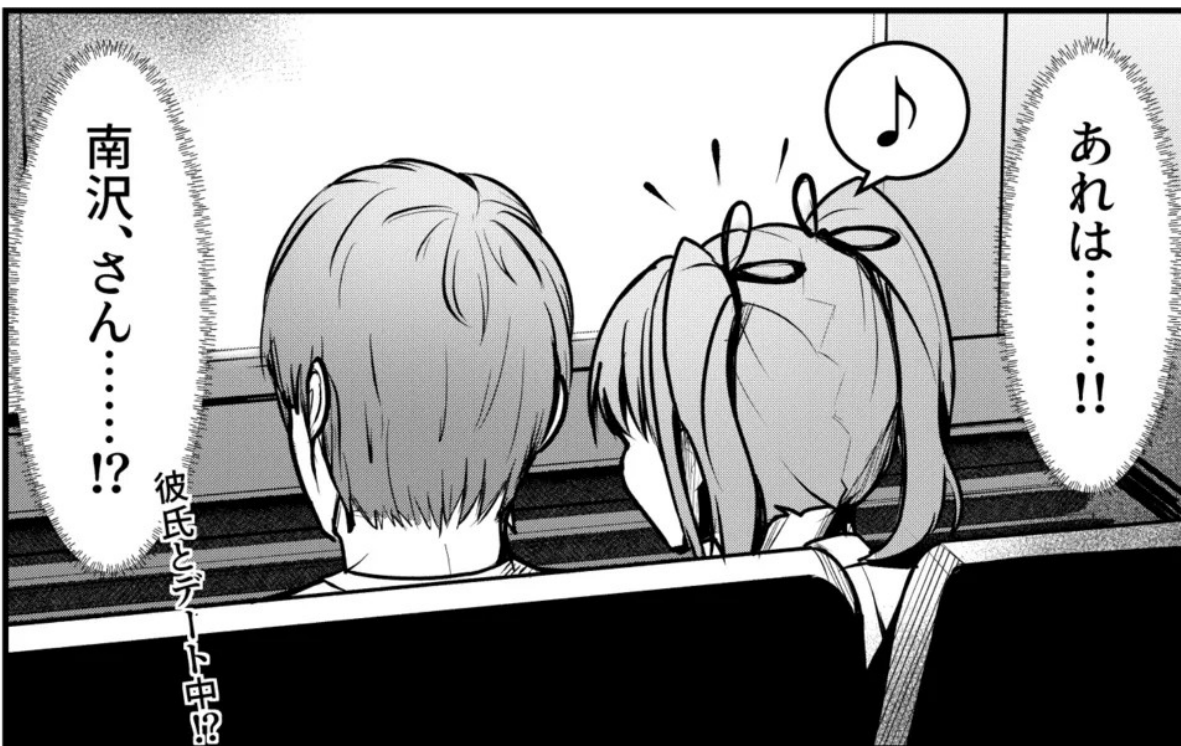
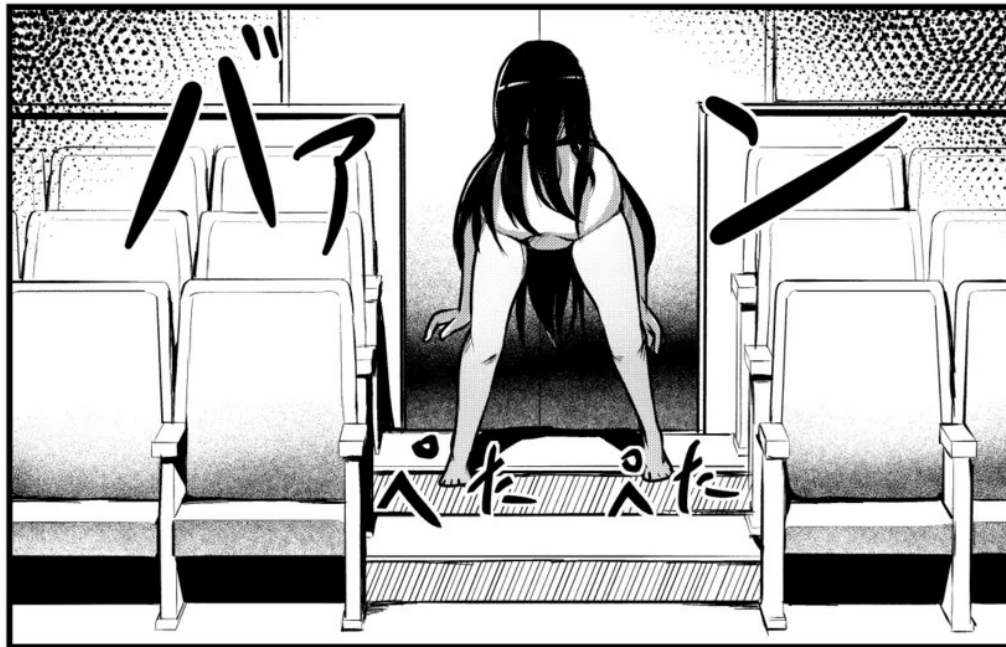
んっ
ビィ
ク

ビィ
ク

くね
さて……と……
くね

……大丈夫、そうね
はあ、はあ……
クッ





その背徳感と惨めな気持ちだが、ますます麗乃を興奮させる

自分は全裸で、こんな妖怪みたいな姿となつて、自分勝手なオナニーをしている

真っ当に、映画そのものを 楽しみに来ている 彼女の後ろで、

んあああ……ッ! わたし、私は……ッ



ある意味合ってるけど……
南沢さん……!!

